

マンリオ・カデロ大使名誉博士号授与式挨拶（趣旨説明）

本日、麗澤大学におきまして、駐日外交団長・駐日サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ・カデロ氏の名誉博士号授与式を挙げることは、わたくしどもの大きな喜びであり、また誇りとするところであります。また、本日、この式典に参加して下さっている皆様に対し、高いところからではございますが、大学を代表いたしまして、心からの感謝を申し上げたいと存じます。

さて、麗澤大学名誉博士規程には「名誉博士の称号は、本学の建学の精神に則り、学術・文化の向上、国家・社会の発展及び人類の安心・平和・幸福の実現に顕著な貢献をした者に授与する」と明記されております。マンリオ・カデロ大使への本学名誉博士号の授与は、大学執行部会議および大学教員人事委員会の議をへて、全会一致で承認され、本日ここに授与式を挙げる運びとなりましたことをご報告申し上げます。

カデロ大使は、1975 年に来日後、ジャーナリストとしてご活躍され、1989 年に駐日サンマリノ共和国の領事に、2002 年には駐日サンマリノ共和国特命全権大使に任命されました。そして、2011 年 5 月には、駐日大使 154 名の代表となる駐日外交団長に就任されました。外交団長として天皇皇后（現 上皇上皇后）両陛下に拝謁する機会も多く、2019 年 2 月に国立劇場で開催された天皇陛下御在位三十年記念式典では、駐日外交団長として祝辞を奏上されました。このように、カデロ大使は卓越した識見と豊富な経験のもと、サンマリノ共和国大使ならびに駐日外交団長として、国家・社会の発展、学術・文化の向上及び世界の平和に多大な貢献をされています。こうした諸活動は国際的にも高く評価され、イタリア共和国騎士勲章

など多くの勲章を受章されています。

日本人以上に日本への造詣が深いカデロ大使は、敬虔なクリスチャンの信仰を保ちつつ、神道に傾倒され、母国サンマリノ共和国にヨーロッパ初の神社本庁公認の「サンマリノ神社」が建立されたことを心から喜ばれています。大使は「日本の文化の神髄は神社にあるし、ヨーロッパ人から見た日本のイメージは神社そのものです。自然を神と崇^{あが}めて大事にし、他の宗教には寛容で、広い視野から物事を捉える。神道の精神、哲学が広まれば、紛争や犯罪が減り、平和な世界が築けるのではないか」と喝破しています（2015年9月22日柏生涯学習センター公開講演会）。2018年10月にはカデロ大使に本学にお越しいただき、グローバル経済に関心を持つ経済学部の学生約180名を前に、ヨーロッパ初のサンマリノ神社など、サンマリノ共和国の歴史・文化及び世界最古の縄文土器といった日本文化の卓越性についてご講演を頂きました。世界各国の大使など要人と対話を重ねるとともに、日本各地を自ら訪問し、日本では「当たり前」と考えられている事物が持つ真の素晴らしさを外交官の目で見、真摯に提言されるカデロ大使の姿は、麗澤大学の日本人学生、海外からの留学生にとって模範とすべきものです。

小規模にこだわり、国際性にこだわり、世界の平和の実現に貢献をする「品格あるグローバルリーダー」の育成を目指している麗澤大学にとって、カデロ大使に名誉博士の称号を授与させていただくことは、わたくしどもの大きな喜びであり、誇りであります。これからも、サンマリノ共和国と麗澤大学の活発な交流が続き、さらに発展していくことで、世界の平和に貢献する人材が輩出されていくことを心から期待しております。

最後になりますが、マンリオ・カデロ大使のますますのご健勝とご活躍を祈念して、名誉博士号授与のご挨拶といたします。

令和2年9月9日
麗澤大学学長 徳永 澄憲